

道徳指導展開案（略案）

江刺市立岩谷堂小学校 千葉正司

- 1 日時 平成16年9月22日（水）3校時
- 2 対象 江刺市立岩谷堂小学校 第3学年 1学級（男18名 女17名 計35名）
- 3 主題名 じぶんをふりかえって 「1-(2)思慮・反省」
- 4 資料名 あらそい（出典 みんなのどうとく3年 学研）
- 5 ねらい よく考えて行動し、過ちは素直に改めようとする気持ちをもつ。
- 6 展開案

段階	活動のねらい	学習活動	指導上の留意点
指導に先立って	<p>日常のけんかについて、振り返る。 日常の体験や、そこで自分や自分以外の人を感じたことについて、目を向けさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・けんかについてのアンケートに記入する。 ・「ほっとカード」に自分や自分以外の人を感じたことについて記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思慮・反省」にかかわって、児童がどんな意識をもっているかわかむ。
<p>ほっとカード 設問1 「うわ、失敗してしまった。」と思う日が先生はあります。もう、こまっちゃいます。みんなの「失敗しちゃったな。」とか「やりすぎちゃったな。」という出来事と気持ちを教えてください。</p> <p>設問2 他の人の「あの一言は言いすぎだと思うよ。」とか「失敗しちゃったな。」という出来事を教えてください。それをあなたは、どう感じたか教えてください。</p>			



段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
導入 3分	<p>1, 本時の学習に興味・関心をもち。 けんかのアンケート結果について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>けんかの理由 けんかした後の気持ち</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・原因は様々であるが、最後はエスカレートしてけんかになる。僕もみんなも同じだな。 ・けんかの後の気持ちで、先生が、隠しておいた項目は何だろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・過ちの経験について事前アンケートをとっておき、グラフを提示し、日常と道徳の時間を結び付けながら、資料へいざなう。
展開前段 15分	<p>2, 資料「あらそい」を読み、「ぼく」とコレッティ君の気持ちについて話し合う。 「ぼく」は仕返しをした後、どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>なぜ謝らないのですか。やりすぎだと思っているくせに。</p> <p>コレッティ君は何でそんなに、怒っているのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・僕は悪くない。最初にやったあいつが悪い。 ・悪いことしちゃった。やり過ぎた。謝ったら許してくれるかな。 ・笑うべきではない場所で笑った顔が許せない。コレッティ君がきちんと謝っていない。 ・でも本当は心の中では謝りたいと思っている。色々な気持ちが心の中で回っている。 ・「ぼく」がわざとやったと分かっているから謝りたくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料は場面で切って朗読する。同時に、挿絵の拡大コピーと登場人物の思い・状況理解を促す紙板書を黒板に貼り、発問する。 ・全面にインクの付いた紙を提示する。
展開後段 22分	<p>3, 役割演技をし、ねらいとする道徳的価値に対する多様な価値観にふれる。 また道徳的価値を自分との結び付きでとらえる。 「コレッティ君」はどんな気持ちで、待ってると言ったのでしょうか。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【演じる時の観点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心の中にたくさんの思いが回っている「ぼく」 ・わざとやられた「コレッティ君」 ・役になり切って()の中に気持ちを入れて </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・役割演技をする際のグループは、生活班とする。 ・演技のウォーミングアップをさせ、抵抗感を和らげる。 ・役割演技に先立ち、観点を示す。

	<p>「ぼく」は、どんな気持ちで「待っているとも。」と言ったのでしょうか。「ぼくとコレッティ君」になり切って演じてみましょう。</p> <p>【グループでの役割演技】</p> <p>(資料の状況が急速に変わる場面を朗読した後) 「コレッティ君」はどうして「もうけんかはよそう。なかよくしよう。」と言ったのでしょうか。 「ぼく」が「うん」と言ったのはどんな気持ちからでしょうか。</p> <p>謝られた「ぼく」は、帰り道で、どんなことを考えていたでしょう。</p>	<p>【観る時の観点】 相手のせりふを聞いた時、どんな印象を受けたか、後で話せるように もし自分だったら、どう演じるか考えながら</p> <p>帰りに待ってるよ(どんな仕返しをしてやる。) / 待っているとも(つられて言っちゃった。どうしよう。本当は謝りたいんだけど。)</p> <p>帰りに待ってるよ(許せない。でも自分も悪かった。) / 待っているとも(すごく怒っているんだろうな。逃げたいよ。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分も悪かった。このままけんかしていたら、ずっと仲良くできない。 ・拍子抜けしてしまった。けんかしないで済んだ。安心した。これが本当は言いたかったんだよコレッティ君も同じ気持ちだった。 ・やっぱり、自分から謝れば良かった。ぼくはなんて格好悪いんだ。仕返しなんかするんじゃない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗感のある児童には友達の表現方法や考えを参考にしてから、自分の考えを表出できるような配慮をする。 ・カッとなる「ぼく」、帰りに待っているよと言う「コレッティ君」どちらにも共感させる。 ・教師は機会をとらえて横から補助的発問をしたり、助言したりすることにより、より深く考えさせる。 ・予想に反し、登場人物がけんかにならなかったことで、思慮・反省の大切さを実感させる。 ・心の円グラフを活用して、「ぼく」の後悔の念に共感させる。
	<p>4, 今までの体験を思い出して後悔したことについて話し合う。</p> <p>いつまでも後悔の気持ちが残ったということはありませんか。</p> <p>同じように、友達とけんかして、似たような気持ちになった人はいませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に友達とけんかして、謝ろうと思ったけど、どうしても謝れなくて、後悔した。 ・一回は一回だと言って、叩き返して、ひどい目に遭わせてしまった。「やらなければよかった。ごめん。」という気持ちでいっぱいだった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・強要はせず、でない場合は教師の体験を話し誰にでも弱い心があるが、素直になることは大切だと言うことを感じ取らせる。
<p>終末 5分</p>	<p>5, 本時のまとめをさせる。諺「過ちを改むるに、憚る事なかれ」を紹介する。今日の学習を振り返って、「ほっとカード」に感想をまとめましょう。</p>	<p>・原因が何であれ、悪いと思ったら自分の方から謝った方がいいと思いました。わけは気持ちですっきりするからです。相手も、自分もです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の今までの友達等に対するや考え方や接し方を振り返り、ねらいとする道徳的価値に対する思いをまとめさせる。